１年生　「上代タノ」朗読劇　を鑑賞しました

令和５年１０月２４日（火）１年生ロングホームルームの時間に**「上代タノ」朗読劇**を鑑賞しました。今年で 11 回目の公演となります。

朗読劇を主催される**「大東女性の集い」代表の白根三代子様**は，本校の卒業生でいらっしゃいます。「時代が変化しても，大東高校から眺めるこの地の風景は今も昔も変わらず，校歌を歌うと今でも当時を鮮明に思い出す」とおっしゃていました。時間の最後，全員で校歌とふるさとを歌いました。

「大東町女性の集い」のみなさま，大変ありがとうございました。

郷土の偉人を紹介

【雲南】雲南市大東町出身で女子教育や平和運動に取り組んだ元日本女子大学長の上代タノ（1886～1982年）の朗読劇が24日、大東高校（雲南市大東町大東）であった。世界各地で紛争が続く中、1年生約60人がタノの生きざまを通じて地域や平和について思いを巡らせた。

タノは米英での留学を通して国際的視野を育み、戦時中も日本女子大学校（現・日本女子大）で英語を指導した。1955年にはノーベル物理学賞受賞の湯川秀樹らとともに「世界平和アピール七人委員会」を設立した。小さな親切運動の提唱者の一人でもある。

タノの顕彰活動を続ける女性グループ「大東町の女性の集い」（白根三代子代表）の12人が劇を披露した。山あいで育ったタノが小学校の遠足で初めて海を見て、果てしなく広がる世界に感動する様子などを演じた。

劇を見た稲田真人さん（15）は「上代タノさんのような前向きな姿勢は大切。国際的な問題や地域の課題解決に少しでも貢献したい」と話した。（山本泰平）

上代タノが帰省した場面を演じるメンバー＝雲南市大東町大東、大東高校

【吉賀】島根県吉賀町柿木、柿木小学校の5、6年生14人が24日、地域の魅力を知る学習に取り組んだ。柿木地区の全景が写った大きな地図の上で、地域資源を再点検し、住民から話を聞きながら、地元の良さに自然の豊かさが分かった。山や川をきれいに残していきたい」と話した。（藤本ちあき）